

歯科材料 1 歯科用金属
管理医療機器 歯科非鋳造用コバルト・クロム合金(70790000)

コラド CAD CoCr4

【禁忌・禁止】

本品の成分に対して過敏症状を有する患者には使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

[形状]

直径98.5mm

厚さ 8、10、12、13.5、15、18、20、24.5mmの円形ディスク

[成分]

コバルト:63.0±2.0%、クロム:29.0±2.0%、
モリブデン:6.0±1.0%、その他、鉄、マンガン、
ニオブ、ケイ素等:1.0%以下

[原理]

本品は歯冠修復物のベースを作成するためのコバルト
クロム製のディスクで歯科コンピュータ支援設計・製造
ユニットで切削加工する。

【使用目的又は効果】

歯科修復物、補綴物の作製に用いる

【使用方法等】

1. 口腔内を直接あるいは模型を光学スキャンし、CAD/CAMソフトウェアで修復物の設計を機能、審美性を考慮して行う。
2. 設計に従いディスクを切削加工する。
3. ディスクから修復物を適したバー等を使用し切り離し、通法に従って形態修正・研磨を行う。
4. この際、必要に応じて、陶材焼付けを行う。
(陶材焼付け)
 - ① 切り離した修復物をスチームで洗浄し、エタノールで超音波洗浄を行う。適したバーを使用し角や鋭利な部分を除去する。バーによる調整は、陶材築盛時の気泡の発生を防止するため、一方向からのみ切削する。
 - ② 修復物表面に陶材を築盛するため、築盛面に2〜3気圧で180 μmのアルミナを使用しブラスティングを行う。
 - ③ 流水下でアルミナを除去し、スチームクリーナーで洗浄する。ブラストした面を汚染しないよう直接手指で触れないようにしながら作業する。
 - ④ デギャッシング(980℃、1分間)を行い、メタル面を処理した場合は、2〜4気圧で110 μmのアルミナを使用しブラスティングを行い、再度洗浄する。
 - ⑤ IPSスタイル(一般的名称: 歯科メタルセラミック修復用陶材、管理医療機器、認証番号: 229AGBZX00072000)等のメタルセラミック用陶材を使用し、オペークは2度塗布して、焼成する。
 - ⑥ その後、適したバーを使用し、研磨して仕上げる。

[使用方法に関連する重要な注意]

- ・ブロックを切削する際は、粉塵を吸引しないようにフェースマスク及び吸塵器を使用すること。
- ・適合するCAD/CAM装置を用いてミリングすること。
- ・キャリブレーション済みのファーンレスを用いて焼成すること。
- ・製造元が推奨するファーンレスを用いて焼成すること。

- ・焼成には高温ファーンレスを使用しないこと。
- ・ブリッジの接合部は、臼歯部は6mm²以下、前歯部は9mm²に壁厚は単冠で0.3mm以下、アバットメントクラウンで0.5mm以下に形成しないこと。
- ・長いブリッジに陶材を焼成後、急冷すると、陶材が収縮し金属部分が露出することがあるので、焼成する陶材の使用方法に従って焼成すること。

【使用上の注意】

[重要な基本的注意]

- ・本品の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた患者およびアレルギー疾患がある患者は、医師の診察を受けさせること。
- ・口腔内でガルバニック電流が発生することがあるので、患者の口腔内に異種金属がある場合は注意すること。
- ・接着材料は使用しないこと。
- ・溶接・はんだ付けは行わないこと。
- ・残った材料でキャスティングを行わないこと。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

[製造販売元]

Ivoclar Vivadent 株式会社

電話 03-6801-1301 Fax 03-5844-3657

www.ivoclarvivadent.jp

[製造元]

Ivoclar Vivadent AG (リヒテンシュタイン侯国)